

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年3月4日(2021.3.4)

【公開番号】特開2020-18650(P2020-18650A)

【公開日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-005

【出願番号】特願2018-145420(P2018-145420)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月18日(2021.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

賞球数が設定された複数の入賞口を遊技領域に配設し、
 該遊技領域から排出された遊技球を検出するアウト検出手段と、
 遊技により発生した各種情報を記憶する記憶手段と、
 該記憶手段が記憶する前記各種情報に基く演算結果を表示する表示手段と、
 前記遊技領域を有する遊技盤に対して開閉可能に支持されたガラス枠と、
 前記アウト検出手段が遊技球を検出すると報知を行うアウト報知手段と、
 を備えた弾球遊技機であって、
 前記表示手段は、前記記憶手段が記憶する前記各種情報が所定の記憶量に達するまでは
 非表示状態を維持し、所定の記憶量に達すると表示状態とし、
 前記アウト報知手段は、電源投入から所定条件が成立するまで前記報知を実施し、
 前記所定条件が未成立でも前記ガラス枠を閉鎖すると前記報知を終了する
 ことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の弾球遊技機は、
 賞球数が設定された複数の入賞口を遊技領域に配設し、
 該遊技領域から排出された遊技球を検出するアウト検出手段と、
 遊技により発生した各種情報を記憶する記憶手段と、
 該記憶手段が記憶する前記各種情報に基く演算結果を表示する表示手段と、
 前記遊技領域を有する遊技盤に対して開閉可能に支持されたガラス枠と、
 前記アウト検出手段が遊技球を検出すると報知を行うアウト報知手段と、
 を備えた弾球遊技機であって、
 前記表示手段は、前記記憶手段が記憶する前記各種情報が所定の記憶量に達するまでは

非表示状態を維持し、所定の記憶量に達すると表示状態とし、
前記アウト報知手段は、電源投入から所定条件が成立するまで前記報知を実施し、
前記所定条件が未成立でも前記ガラス枠を閉鎖すると前記報知を終了する
ことを特徴とする弾球遊技機である。